

育っちゃんのひとり言

2008年12月発行 VOL.9



こんにちは、綿松ハウジングのたえです。早いものでもう師走。ニュースレターを発行して1年。試行錯誤しながらの編集・発行でしたが、読んでくださるお客様のおかげで発行することが出来ました。ありがとうございました。来年も皆様のお役に立てるニュースレターを目指してがんばります！

インテリアコーディネート ~インテリア上手になるために！絨毯編②~

絨毯は現在でも多くの空間に使用され、保温性、吸音性などの基本性能が認められているとともに、防災、防汚、防ダニなどの付加加工により広く支持されています。

CHECK 省エネ効果

保温効果が高いのが機能面での大きなメリットです。毛足の長い敷物ほど保温効果があります。また、床暖房のフローリングの場合低い温度設定でも充分足元を温めてくれます。



CHECK 保護効果

物を落として、傷がつかないように保護をする。当たり前のようなことですが、無垢材などの床は傷がつきやすいのでおすすめです。

CHECK ウールの長所

湿度を自然にコントロール

ウールの表皮はうろこ状に重なり合った形状をしているので、この表皮が湿気を感じて開閉し、湿度調整をします。



燃えにくい

ウールはアミノ酸で、できたタンパク質で構成されていて、燃えにくい窒素が多く含まれているため、難燃性に優れ、煙や有毒ガスの発生の極めて少ない性質です。

ホルムアルデヒドを吸着

ホルムアルデヒドをはじめ様々な有害物質を吸着・浄化する作用があり、半永久的に持続します。

汚れが付きにくい

ウールの表皮は水分をはじく性質(エピキューティクル)なので、ジュースをこぼしても表面ではじいて、繊維内部まで浸透しません。

色落ちしにくい

アミノ酸で構成されているウールは染料との相性がよく色落ちしにくく耐久性にも優れています。

編集・発行 綿松工務店 〒634-0834 橿原市雲梯町 350-31

TEL 0744-25-7220 FAX 0744-25-7221

育てる家

検索



家づくり!! モデルハウスでワンポイントレッスン!!

《有井モデルハウス》

朝の光を取り込む!!

東側に隣家がある場合の1階ダイニングに東からの光を取り込みたい時、勾配天井プラス高さのある縦長窓で隣家からの視線を遮りながら採光を確保します。勾配天井を設けることで空間がより広く感じられます。



みんなのお家 超シア!!現在建築中の状況をアップしています。

http://blog.kansai.com/tb/watamatu_h

建築あれこれ日記「緑の柱」国産無垢材で建てる

「ハウスガードシステムの家」東中M様邸リポート も更新!!

<http://hikaru2007.cocolog-nifty.com/>

お知らせ



7-ス出展
します!!

NARA住まい&暮らしフェア 2009

【開催日】 2009年1月11日(日) 12日(祝)

【時間】 am10:00~pm4:00

【開催場所】 インテクノ奈良「奈良県広域地場産業振興センター」

【主催】 奈良新聞社 ならリビング



*詳しくは、ならリビング、または12月下旬ホームページにてお知らせします!!

「200年住宅」の普及へ、国が始動！

「超長期住宅先導的モデル事業」が実施！

国が「200年住宅の普及」の普及に本格的に乗り出しました。130億円の国費を助成金として支給するモデル事業もスタートし「長期優良住宅の普及の促進に関する法律案」も国会で審議中です。住宅政策は「ストック重視」へ、今大きな転換期を迎えました。

1 「200年」の普及支援策とは

「長期優良住宅」を国が推進 イギリス 75年、アメリカ 44年、日本 26年—

住宅の平均寿命の比較です。（「建設白書」国土交通省 1996年）。日本は極端に短く、それが資源の無駄づかいや、住宅ローンを各世代が負担することによる、暮らしのゆとりの喪失として問題視され「住宅の長寿命化」に向けた動きが始まっています。

この法案は「長期にわたり良好な状態で使用するための措置が、その構造及び設備について講じられた住宅」を特に「長期優良住宅」として認め、その普及を支援するために、財政上・金融上等の措置を講ずることを定めるものです。

また「先導的モデル事業」もスタートしました。これは「200年住宅」の普及を促進するため、そうした住宅が、備えるべき高耐久や維持管理の容易性、さらにモデル住宅にふさわしい先導的な提案を行っている住宅事業に対して、国が補助を行うというものです。

「ストック重視」の背景 住宅の長寿命化が目指される背景にあるのは以下の2点です

1. 地球環境問題が深刻化するなか、資源の無駄づかいを抑えるべきこと
2. 一世代ごとに住宅を建て替えることによる経済的負担を解消し、より豊かな生活を実現していくべきこと

そうした観点から、06年には「ストック重視」をうたった「住生活基本法」が成立、07年5月には自民党の「住宅土地調査会」が「200年住宅ビジョン」を公表し「超長期にわたって循環利用できる質の高い社会的資産の住宅(200年住宅)」の建設を目指すべきことを訴えました。

「200年住宅」とは何なのか それにしてもなぜ「200年」なのでしょう

「超長期住宅先導的モデル事業」を担当している国土交通省住宅局市街地建築課の市街地住宅整備室長は、「200年というのは、今からさかのぼれば江戸時代後期です。それほど長い。一件の家が、代々住み継がれていくとは限りません。売買されたり、貸し出されたりする場合が必ず出てきます。つまり200年という長さで見れば、住宅は市場に出され、社会的な評価にさらされると考えなければなりません。200年の長寿命というのは、単なる時間の長さではない。

市場できちんと評価され、売ったり貸したりすることができるという、社会的にも、個人的にも資産となる住宅だということの意味しているものと受け止めています。」と、語っています。

2 「200年住宅」普及支援策の概要

どんな支援があるのか 「200年住宅」の普及支援策として明らかになっているもの

1. 認定された長期優良住宅に対する税負担の軽減
(登録免許税、不動産取得税、固定資産税の負担軽減)
2. 「超長期住宅先導的モデル事業」の創設 (国費 130 億円を投入) <実施中>
3. 住宅履歴情報の整備(新築・改修時の情報を保存し、継続活用)
4. 超長期住宅に対応した住宅ローンの開発

■「長期優良住宅(200年住宅)」は税負担が軽くなる

	一般住宅	200年住宅
登録免許税 保存登記	1.5/1000	1.0/1000
移転登記	3.0/1000	1.0/1000
抵当権設定登記	1.0/1000	1.0/1000
不動産取得税	1,200万円控除	1,300万円控除
固定資産税 [戸建て]	1~3年目 1/2 軽減	1~5年目 1/2 軽減

3 実施中の「超長期住宅先導的モデル事業」とは

- 採択された先導的な新築、住宅改修事業に対して、上限200万円/棟を補助
- 08年度の第1回募集は終了。ハウスメーカーや地域の工務店グループの新築住宅を中心に40件が認定
- このモデル事業は、09年度以降も5年間程度継続される予定

住宅履歴情報の整備については、実施に向けて「共通の用語を決める」という作業が進められています。建てた人がずっとメンテナンスするとは限らず、別の人が手を加えて住宅として維持することも十分に考えられるわけですから、誰でもわかるように当初の性能やメンテナンスに関する情報を確実に蓄積して、いつでも活用できるようにしようということです。」(市街地住宅整備室長)

■ このサイトが役に立ちます

- 「長期優良住宅の普及の促進に関する法律案」の内容/衆議院

http://www.shugiin.go.jp/itdb_gian.nsf/html/gian/honbun/houan/g16905044.htm

- 自民党の「200年住宅ビジョン」/自民党

<http://www.jimin.jp/jimin/seisaku/2007/seisaku-007.html>